

## 四国旅客鉄道株式会社 2024 年度決算等に関する公告

2025 年 9 月 19 日

香川県高松市浜ノ町 8 番 33 号

四国旅客鉄道株式会社

代表取締役社長 四之宮 和幸

### 1 2024 年度の貸借対照表及び損益計算書の要旨

#### 貸 借 対 照 表 の 要 旨

(2025 年 3 月 31 日現在)

(単位 : 百万円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	61,191	流 動 負 債	38,272
固 定 資 産	156,279	固 定 負 債	53,210
経営安定基金資産	220,956	鉄道・運輸機構特別債券	
鉄道・運輸機構特別債券	140,000	引受けのための借入金	140,000
		資 本 金 等	346,471
		利 益 剰 余 金	471
合 計	578,427	合 計	578,427

(注) 1 有形固定資産の減価償却累計額 236,789 百万円

2 1 株当たりの当期純利益 8,320 円 55 銭

#### 損 益 計 算 書 の 要 旨

(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)

(単位 : 百万円)

科 目	金 額
営 業 収 益	30,443
営 業 費	45,285
営 業 損 失	14,842
営 業 外 利 益	18,239
経 常 利 益	3,396
特 別 利 益	21,499
特 別 損 失	21,975
税 引 前 当 期 純 利 益	2,920
法人税、住民税及び事業税	387
法 人 税 等 調 整 額	△445
当 期 純 利 益	2,977

(注) 営業外利益のうち、経営安定基金運用収益 12,653 百万円、

鉄道・運輸機構特別債券受取利息収益 3,396 百万円

### 2 主たる事務所の所在地、ディスクロージャー担当部署及びその電話番号

- 主たる事務所の所在地 香川県高松市浜ノ町 8 番 33 号
- ディスクロージャー担当部署 広報室
- 電話番号 087-825-1626

### 3 2025年度の事業計画の概要

2025年度は、中期経営計画2025の集大成であり、更なる飛躍を目指す年度と位置づけ、以下を重点実施項目として各種施策に取り組んでいくこととする。

#### ① 鉄道事業における収益拡大施策の推進

サンポート高松地区において、新たに開業した香川県立アリーナで開催されるイベントや大学開校による需要を確実に取り込む。また、「瀬戸内国際芸術祭2025」、「大阪・関西万博」等の各種イベントにあわせた施策展開、観光列車のブランド力向上のほか、海外旅行会社へのセールス等を引き続き強化し、観光需要創出と誘客促進、インバウンド需要の更なる獲得に取り組む。さらに、8000系特急電車等のリニューアル工事や繁忙期における特急列車の指定席拡大、列車内でのバーコード決済導入など、更なるサービス向上施策を着実に推進し、これらの施策により収益の最大化を図る。

#### ② 構造改革の加速

持続可能な経営体質の構築に向け、多度津工場の近代化やハイブリッド式ローカル車両の導入、ワンマン運転の拡大・定着、土木構造物検査システムの導入等、支援措置を活用した設備投資による省力化・省人化施策を着実に進め、生産性向上を図る。また、引き続き業務の見直し・デジタル化による効率化やワークスタイルの変革を推進する。このほか、地域の関係者と一体で将来のあるべき交通体系の構築に向けた建設的な議論・検討を進めるとともに、「5カ年推進計画2021～2025」の総括検証及び事業の抜本的な改善方策の検討を行う。また、MaaSの考え方のもと、鉄道やバス等の各モビリティが特性を発揮し有機的に連携した利便性の高いモビリティを提供できるよう、パターンダイヤの更なる拡大や、地域の関係者と一体となったモビリティ間の連携、交通結節機能の強化等、鉄道を利用しやすい環境づくりや利用促進に向けた具体的な取組みを進めることにより「公共交通ネットワークの四国モデル」を追求する。

#### ③ 非鉄道事業における最大限の収益拡大

将来において鉄道事業と並ぶ柱となり、グループ経営を支える事業の確立を目指した取組みについて、グループ一体となって進める。

「高松オルネ」、「JR松山駅だんだん通り」の運営力向上、販促による誘客及び継続的なりーシングに取り組むほか、旧研修センター跡地及び高知外資系ホテルの開発を確実に推進するなど、各セグメントにおける戦略や施策に基づき、中長期的な成長に向けて更なる足場固めを行う。また、新規事業として、サーモン陸上養殖事業の四国内での展開を図る。

さらに、既存事業の市況悪化、環境悪化に左右されない新しい領域へのチャレンジとして推進しているM&A戦略等については、引き続き新規案件の情報収集等に取り組むとともに、グループに組み入れた企業については継続的なフォローを行い、統合による効果が最大化されるようPMI（経営・業務・意識の統合施策）を着実に進め、安定的な財務基盤の構築及び収益の拡大を図る。

これらの投資施策の実施にあたっては、支援措置の利子補給制度を積極的に活用するほか、外部能力や業務提携等の活用、外部人材の受入や経験者採用の推進、研修等を通じた従業員の意識改革等による人材・ノウハウの充実など一層の体制強化を図る。

輸送量の見通し		列車の運行量
輸送人員	輸送人キロ	列車キロ
40百万人	1,232百万人キロ	18百万キロ

(注) 上記の数値は、経済情勢の動向等により変動する場合がある。

### 4 2024年度の事業報告の概要

2023年5月の新型コロナウイルス感染症5類移行からの経済活動回復の動きが継続した。また、サンポート高松地区において新たに開業した香川県立アリーナや大学開校により今後の人流増加の期待が高まる一方、物価上昇が続くなど、経営環境は不透明な状況が続いた。

このような状況のもと、中期経営計画 2025 の 4 年目であり、目標達成に向けた正念場の年度として、日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律等の改正により講じられた支援措置を活用し、「鉄道事業における収益拡大施策の推進」「構造改革の加速」「非鉄道事業における最大限の収益拡大」を重点実施項目として経営基盤強化につながる施策を着実に実行した。

具体的には、松山駅高架化開業や「しこくスマートえきちゃん」(以下、「スマえき」という。) のバージョンアップ、8000 系特急電車のリニューアル編成増備などによる利便性の向上と利用促進に取り組んだほか、社内外の行事・イベントを契機とした各種営業施策や新規開業した「高松オルネ」、

「JR 松山駅だんだん通り」での誘客・販促施策、収益不動産の取得、分譲マンションの販売促進などに取り組み、収益拡大に努めた。また、省力化・省人化に資する設備投資を進め、多度津工場近代化の推進やワンマン運転の拡大、老朽設備取替にあわせた設備のスリム化など、生産性向上を図った。さらに、パーソンダイヤの導入・拡大や当社の通学定期券で沿線の路線バスが利用できるモーダルミックス推進事業を実施するなど、「公共交通ネットワークの四国モデル」構築に向けた取り組みを行った。そのほか、「新しい価値・サービスへの創造」へのチャレンジとして M&A 戰略を掲げており、2024 年 12 月に 2 件目である「株式会社基礎建設コンサルタント」、2025 年 3 月に 3 件目となる「四国医療器株式会社」の株式を取得し子会社化した。

経費面については業務のデジタル化、安全に影響しない修繕費の見直しなどコスト削減に取り組んだ。

以上の結果、当事業年度の営業収益は 30,443 百万円（対前期比 4.1% 増）、松山駅高架化に関する修繕費が増加したことなどにより、営業損失は 14,842 百万円となった。

## 5 国からの出資金及び補助金等の額（2025 年度予算）

鉄道施設総合安全対策事業費補助金 278 百万円、鉄道駅総合改善事業費補助金 191 百万円、  
鉄道防災事業費補助金 140 百万円、サービス付き高齢者住宅整備事業 94 百万円、  
ポストコロナを見据えた受入環境整備促進事業補助金 25 百万円、  
観光振興事業費補助金 5 百万円、地域における受入環境整備促進事業補助金 5 百万円

## 6 関係会社一覧（2025 年 3 月 31 日現在）

会 社 名	出 資 額	出 資 比 率
株式会社 JR 四国ホテルズ	2,300 百万円	100%
ジェイアール四国バス株式会社	740 百万円	100%
四国キヨスク株式会社	614 百万円	100%
JR 四国不動産開発株式会社	350 百万円	100%
JR 四国ステーション開発株式会社	310 百万円	100%
株式会社めりけんや	136 百万円	100%
本四塗装工業株式会社	75 百万円	100%
四国開発建設株式会社	68 百万円	100%
四国電設工業株式会社	61 百万円	100%
四国鉄道機械株式会社	51 百万円	90%
株式会社ジェイアール四国企画	40 百万円	100%
四鉄運輸株式会社	40 百万円	100%
株式会社ジェイアール四国メンテナンス	30 百万円	100%
JR 四国ソリューション株式会社	26 百万円	100%
株式会社駅レンタカー四国	14 百万円	100%
東京セフティ株式会社	※306 百万円	100%
株式会社基礎建設コンサルタント	※716 百万円	100%
四国医療器株式会社	※2,279 百万円	97%

※純資産額

## 7 組織の概要

### (1) 定款

定款により取締役 18 名以内、監査役 4 名以内

### (2) 役員の氏名、役職及び任期（2025 年 6 月 24 日現在）

氏名	役職	任期	最終官職
西牧 世博	代表取締役会長	2024 年 6 月 25 日～2026 年 6 月 株主総会日	—
四之宮和幸	代表取締役社長	2024 年 6 月 25 日～2026 年 6 月 株主総会日	—
長戸 正二	専務取締役	2024 年 6 月 25 日～2026 年 6 月 株主総会日	—
平田 成正	常務取締役	2024 年 6 月 25 日～2026 年 6 月 株主総会日	—
高畠 雅彦	常務取締役	2024 年 6 月 25 日～2026 年 6 月 株主総会日	—
瀬井 威公	常務取締役	2025 年 4 月 1 日～2026 年 6 月 株主総会日	—
高須賀 浩	取締役	2024 年 6 月 25 日～2026 年 6 月 株主総会日	—
寺川 隆裕	取締役	2024 年 6 月 25 日～2026 年 6 月 株主総会日	—
谷 芳彦	取締役	2024 年 6 月 25 日～2026 年 6 月 株主総会日	—
佐伯 勇人	取締役	2024 年 6 月 25 日～2026 年 6 月 株主総会日	—
古谷 純代	取締役	2024 年 6 月 25 日～2026 年 6 月 株主総会日	—
森下 聖史	監査役	2023 年 6 月 23 日～2027 年 6 月 株主総会日	—
大塚 岩男	監査役	2023 年 6 月 23 日～2027 年 6 月 株主総会日	—
山元 文明	監査役	2023 年 6 月 23 日～2027 年 6 月 株主総会日	—
真鍋恵美子	監査役	2023 年 6 月 23 日～2027 年 6 月 株主総会日	—

### (3) 社員数（2025 年 4 月 1 日現在員）

2,010 人